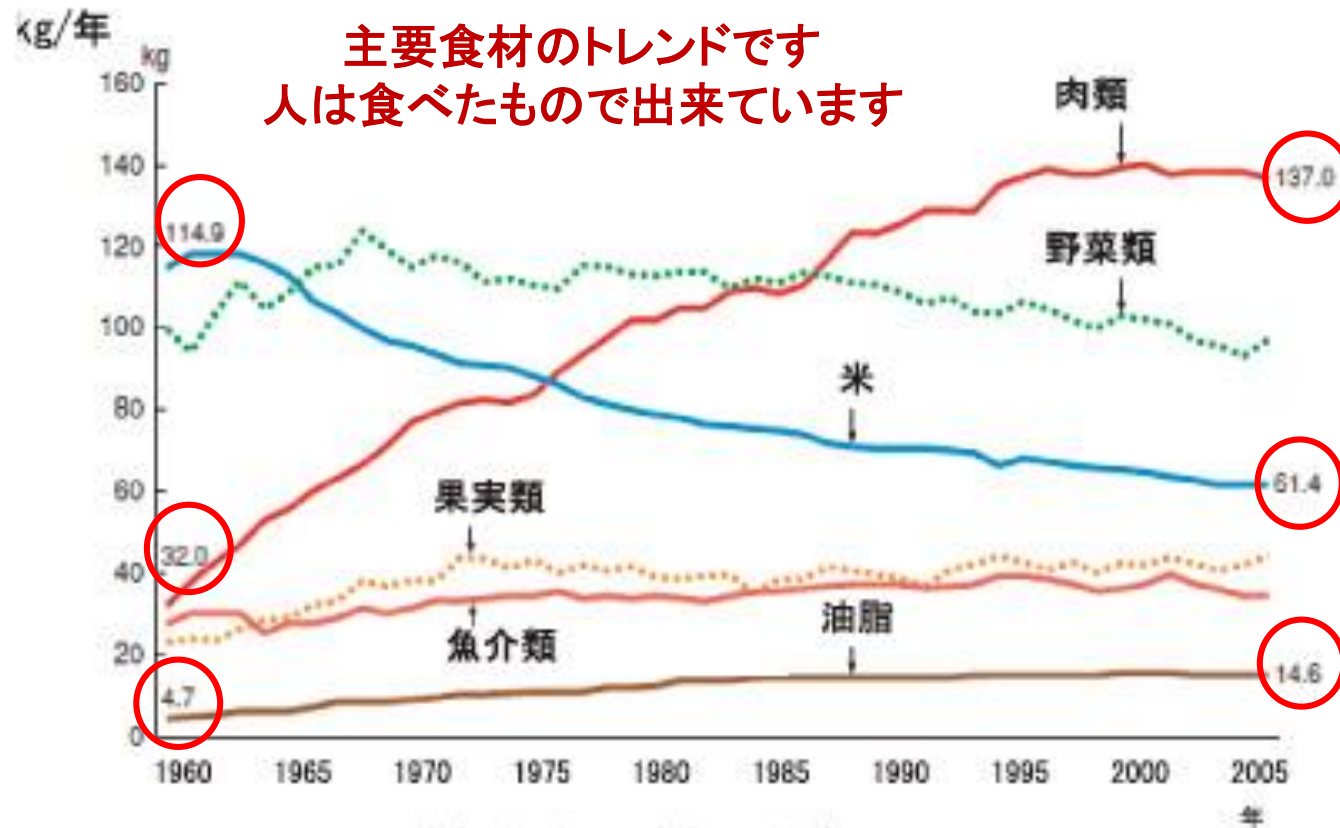


土壌環境と腸内環境は同じです

有機な野菜は、微生物の棲む土壌から
バイオマスもみがら研究会からの提案です

人の健康は乳酸菌が棲む腸内環境から 「有機な土と食プロジェクト」からの提案です



昔と違う今の食生活・・それも、50年ほどの間の出来事です・・・！

既にどうにもならなくなっている日本の食環境

- ・石油由来の食品添加物
- ・発酵していない発酵食品
- ・精製し過ぎの塩や砂糖
- ・酸化防止剤
- ・人工着色料
- ・マーガリン
- ・シュートニング
- ・膨張剤(ミョウバン)
- ・・・・きりがないのでこの辺で。
- ・農薬大国世界第3位の日本の野菜
- ・抗生物質漬けの畜産肉
- ・代替の人工甘味料
- ・たんぱく加水分解物
- ・人工調味料
- ・遺伝子組み換え食品

既に課題が多すぎる生活環境

そして大気汚染・水質汚染・放射能汚染らの生活環境汚染

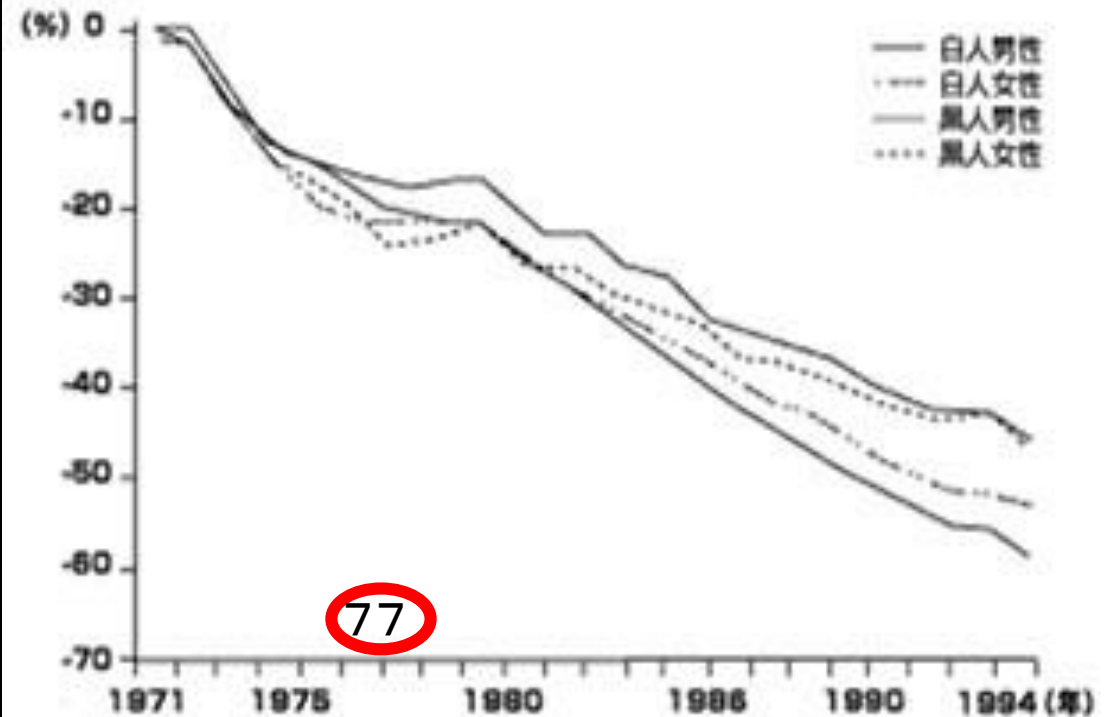
- 野菜(土壌)は、農薬以外にも、
- ・ケイ酸不足による野菜の糖エネルギー不足
 - ・化成肥料多用による地力の消耗
 - ・未熟有機堆肥による土壌の不健全化
 - ・酸性雨等による酸性化、重機による硬盤化
- 等の課題が山積しています。

日米のガン死亡率と米国の冠動脈疾患の推移



77年

マクガバン レポート



77

米国における冠動脈疾患死亡率の変化
(フラミンガム研究)

1960年代のアメリカは、国民一人当たりの医療費が世界一で平均寿命は世界26位でした。このままではアメリカの経済は医療費で破綻するとして、マクガバン議員が世界から学者を集めて食事と健康を調査して、膨大な調査結果、マクガバン レポートを1977年に発表しました。「ガンや心臓病などの増加は食生活の誤り」ということを発表して肉、卵、乳製品、砂糖などの摂取を控え、野菜や穀物中心の食事にするように、と提案したとされています。

本当のところは分かりませんが最初は、肉、卵、乳製品、砂糖をほとんど摂るなと発表したものの、国家権力だと業者から猛攻撃を受け第2版ではできるだけ摂取を控えと書き換えられ本文も加筆訂正された為、第1版とは異なるそうです。

そしてそのマクガバン・レポート後の、アメリカの今は・・・

アメリカではがんになると、日本と同じ3大療法(手術・放射線・抗がん剤)の医療にするか、**自然療法士(民間療法を含む)**にするか、あるいはその両方にするか、の選択が出来ます。

マクガバン・レポートで、がんは薬では治らないと断言したのですから、自然な流れです。

また、日本ではたんぱく質、脂質、炭水化物、ビタミン、ミネラル、食物繊維、水の7つの栄養素が中心ですが、アメリカではさらに2つの栄養素を加えています。

8番目「ファイトケミカル (抗酸化物質・植物の化学成分)」

9番目「エンザイム (酵素・生体内の化学反応を触媒する)」

**野菜や穀物中心の食事
にするよう提言した
マクガバン・レポートが
参考にされたのが日本食
だと言われています。
それも、1970年頃の
日本食でした(第2版)**



現在ではさらに進んで、健康に留意して

- ・オーガニックに関心が高まるだけでなく、
 - ・トランスファットフリー (トランス脂肪酸)、
 - ・NO MSG (グルタミン酸ナトリウム)、
 - ・NO GMO (遺伝子組み換え食品)、
 - ・グルテンフリー、
- 等に、多くの関心が持たれ始めています。

日本では、免疫学の第一人者 安保徹氏(先生)が20年以上前から警鐘を発しています



新しい免疫学の考え方
医学博士 安保 徹 - オフ、

1947年、青森県生まれ。
89年、胸腺外分化T細胞の存在を発見。
96年、白血球の自律神経支配のメカニズムを初めて解明、
国際的な場で研究結果を発表し続け、免疫学の最前線で活躍。

病はどのように起こり、現代医学はなぜそれを治癒出来ないのか。
その鍵を握るのが交感神経と副交感神経のバランスから成り立つ、
自律神経と連動して働く免疫システムのしくみにあることを研究・
発信し続けた免疫学の第一人者 安保徹氏(先生)の著作が、
腸内環境と土壤環境は同じ、のエビデンス(根拠)です。



健康は免疫力に左右されますがその免疫には全体性が大切です

1. 免疫を高める作用のあるもの
2. 抗酸化作用を高めるもの
3. アポトーシス(細胞の自死)を促進するもの
4. 悪性細胞を抑制する作用のあるもの

★平均寿命ではなく健康寿命のためには、普段(普遍性)が大切です・・・!

- ・本来の滋養ある野菜 (特別栽培・有機栽培・自然農・・・・・・)
- ・外部から摂取する食物酵素 (果物や野菜・味噌の本物の発酵食品)
- ・骨(骨髄)をケアする運動 (ストレッチ・散歩等)
- ・笑いで副交感神経をケア (笑う門には福来る・・・それぞれのお好みで)
- ・体内の酸素不足をケア (呼吸法・調息法等・・・・・・時に、意識して深呼吸)

★そして上記の不足をサポートする、おススメ商品達

- ・腸内免疫を刺激する新型乳酸球菌 (殺菌乳酸球菌 EF-621K菌 <https://www.npomomigara.jp/>
.....
- ・内臓の冷えを防ぐために入浴・足湯・手湯 (酵素湯)
- ・エネルギーに満ちた水 (ゆの里の月のしずく) <http://www.spa-yunosato.com/>

商品開発

- ・食べる乳酸菌食品 (食べる乳酸菌ふりかけ 米ぬか)
- ・ケイ素の正常な吸収 (飲食可能な植物由来のケイ酸+殺菌乳酸球菌=新・健康食品)
- ・精製していない食品

加熱殺菌新型乳酸菌＝乳酸球菌 EF-621K菌

詳しくは「有機な土と食プロジェクト 免疫ユニティー」をご覧ください。

<https://www.npomomigara.jp/>